

令和4年4月15日  
住民接種担当部

## 新型コロナワクチン4回目接種の実施に向けた準備について

### 1 主旨

国は、令和4年3月25日に、新型コロナワクチンの4回目接種の実施に備え、概ね5月下旬を目途に、接種券や会場の手配等、準備を進めることを自治体あてに通知した。

4回目接種を実施するかどうかは、引き続き国の分科会で審議されることとなるが、上記の国の通知に基づき、実施が決定された際に円滑にスタートできるよう、早急に準備が必要な業務を進めるとともに、必要な経費の予算化を図る。

### 2 現時点における4回目接種の概要（令和4年3月25日付国通知※の抜粋）

- ・4回目接種の実施やその対象者、3回目接種からの接種間隔等については、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で引き続き審議する。
- ・各自治体は4回目接種の実施に備え、3回目接種を受けた全ての者が対象となることも想定して、現時点（3月25日時点）から2か月程度を目途に、接種券や会場の手配等、準備を進めること。
- ・4回目接種で使用するワクチンとしては、追加免疫としての使用が承認されているファイザー社ワクチン及び武田／モデルナ社ワクチンを想定している。
- ・4回目接種に係る接種体制確保に必要な費用については、引き続き、国が全額を負担する方針のもと、必要な予算については今後措置する予定。

※令和4年3月25日付国通知「新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）の体制確保について」

### 3 早急に準備が必要な主な業務及び予算について

#### （1）早急に準備が必要な主な業務

##### ①接種券の発送

現時点で国は5月末頃を目途に接種券の発送準備を行うことを自治体に通知しており、3回目接種完了者に対する接種券の印刷、封入・封緘、発送を行う。

##### ②予約受付体制の確保

5月末頃の接種券発送に備え、コールセンターの受電体制の確保や、4回目接種に対応した予約システムの調整等を行う。

##### ③高齢者施設入所者等に対する巡回接種の体制確保

5月末以降、高齢者施設入所者等に対する巡回接種を速やかに実施するため、巡回接種体制を確保する。

(2) 上記(1)にかかる概算経費

1,566,155千円(国庫支出金10/10)

内訳) 4回目接種への対応にかかる事務経費 1,195,613千円

(接種券の発送、コールセンター体制確保、予約システム調整等)

4回目接種における巡回接種体制確保にかかる経費 370,542千円

※予算については、地方自治法第179条第1項の規定に基づく区長専決処分を行い、令和4年第1回区議会臨時会において承認を求める予定である。

(3) その他

4回目接種の実施やその詳細はいまだ国で検討中だが、現時点の情報や3回目接種の実績等を踏まえ、国による接種間隔の急な前倒し等に対応可能な集団接種体制の確保など、4回目接種の対応方針を早期に定める。

これら区の集団接種会場の体制確保にかかる経費や、4回目接種における接種費用など、今後必要となることが見込まれる経費については、別途改めて補正予算での予算化を視野に調整を進める。